

## 現代文化とメディアの資料①

### 1、文化と文明と社会

▽文化 (Culture) とは

ラテン語では Cultura。①「耕作」 ②「心の涵養や洗練」 ③「ある集団に特有の生活様式」 ④「知的活動、特に芸術活動の成果と実践」 ⑤「観念の体系」 ⑥「象徴と意味のシステム」

このうち、最も一般的に使われるのは③の意味。すなわち、文化は

- ・衣食住などの生活様式
- ・生きるための工夫
- ・学習によって獲得され、社会の成員によって共有され、次の世代に伝えられるもの
- ・人間を他の動物から区別するもの

文化は実体のない側面（文化の内容を形作る信念、理念、価値など）と実体のある側面（文化の内容を表象する物やシンボル、技術）から構成されている。

漢字の「文化」の2つの意味

- ① 文治教化
- ② 文明開化

▽文化の種類/区分

① 高級文化 (High Culture=エリートの文化) と大衆文化 (Popular/Mass Culture=大衆に広まった文化)。

※文化の神聖化現象

② 主流文化 (Main Culture)、対抗文化 (Counter Culture)、下位文化 (Subculture)。

- ・主流文化は、正統的・伝統的文化を指し、高級文化と同義にも用いられる。
- ・対抗文化 (カウンターカルチャー) は、伝統的に受け入れられてきた価値や行動様式に対抗する文化。
- ・下位文化 (サブカルチャー) は、ある社会の支配的な文化から逸脱した文化事象を指す。対抗文化よりは保守的。民族集団や言語集団、社会のほかの部分から識別される一部の人達の文化など。

▽文化の中核としての言語

言語は、文化項目のうち最も精緻な記号体系であり、文化の鍵である。その本質的な機能は、音声によって人間間のコミュニケーションの媒体となることである。言語は人間を他の動物から区別する最も重要な指標とも言われる。人間は言語で考える。人間は言語という文化的レンズを通して世界を認識する。

▽文明 (Civilization)

人間が創り出した高度な文化あるいは社会を指す。文化の同義語として用いられることもあるが、あえて分けると、文化は「宗教、芸術、学芸などの精神的所産」を指し、文明は「人間の技術的・物質的所産」を指すことが多い。文明は西欧社会によって、野蛮や未開と対置されてきた。

▽文明	▽文化
普遍的	民族的
物質	精神
社会の進歩	人間性の進歩
フランス的	ドイツ的
啓蒙主義	反啓蒙主義
合理主義	神秘主義
世界市民主義	ナショナリズム

#### ▽文明の衝突 (The Clash of Civilizations)

アメリカの政治学者、サミュエル・ハンチントンが 1993 年に発表した論文のタイトル。ハンチントンは、21 世紀の世界は、国際社会が一体化するのではなく、数多くの文明の単位に分裂し、それらが相互に対立・衝突する方向に向かうと主張した。

#### ▽文明の性質

- ①文明には単数形の文明と複数形の文明がある。前者は野蛮や未開の対極にあるもので、後者は共通の性質に基づいてグループ分けされたもの。
- ②文明は文化を拡大したもの、文化的な特徴と現象の集合である。
- ③文明は包括的である。文明よりも広い文化的なまとまりはない。
- ④文明は滅びる運命にあるが、極めて長命である。帝国が滅んでも、文明は存続する。
- ⑤文明は文化的なまとまりであって、政治的なまとまりではない。だから文明は秩序を維持しないし、政府の仕事（司法や徴税）は一切しない。

#### ▽社会の定義

社会とは、個人と個人を結びつける相互関係のシステム。国民国家の境界線（例えば、日本社会など）と同義語に使われることが多いが、それとは一致しないこともある（例えば、日本の中の韓国人社会など）。

- ・デュルケーム（フランスの社会学者）は、社会はそれを構成する個人の外に、また個人を超えて存在するものと考えた。社会は私達が生まれる前から存在し、そして生まれた後も存在する。
- ・人間が大勢集まって社会を作り、社会関係を作る。社会関係が出来上がっているので、新しく生まれた個体が社会に適応し、人間らしい人間に育っていく。
- ・社会化とは、子供、あるいは新たな社会成員がその社会の生活様式を学習する過程。下等動物と違い、哺乳類などの高等動物の子供は出生時に完全に無力（人間の場合、4、5年）。社会化は、無力な幼児が自己を自覚し、理解力を持った人になり、自分の生まれた文化の諸様式を習熟していく過程。

**※今回は学部のポータルサイトに資料を掲載しましたが、次回以降は教務システムで直接送るか、Moodle にアップする予定です。**